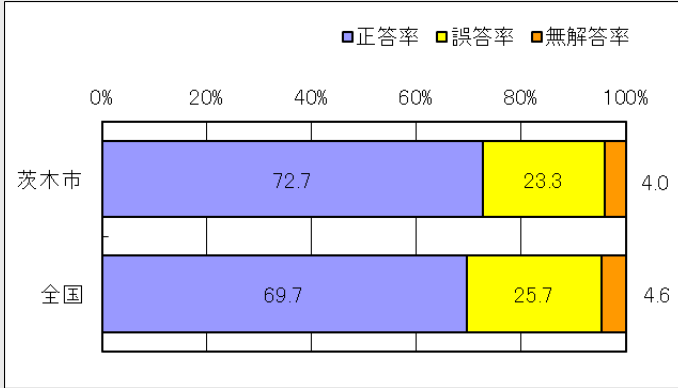


正答率比較

平均正答率は、全国を3.0ポイント上回った

令和5年度 中学校国語 正答率等比較

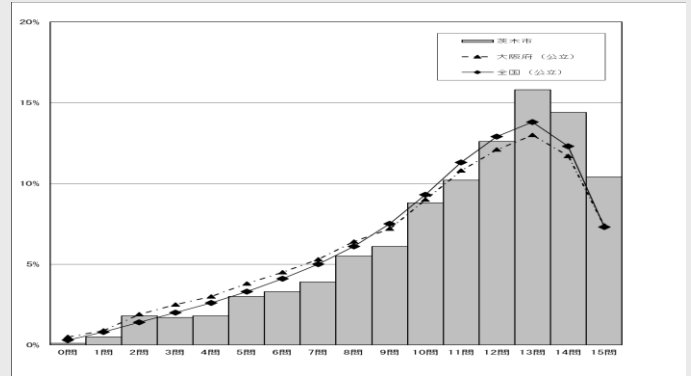


- ◆ 全国の平均正答率が 69.7%であるのに対し、茨木市では 72.7%で、全国を 3.0 ポイント上回った。
- ◆ 誤答率については、全国より 2.4 ポイント低い。
- ◆ 無解答率については、全国より 0.6 ポイント低い。

正答数分布

学力の分布は、正答数の多い側に集中した山型である

令和5年度 中学校国語 正答数分布グラフ

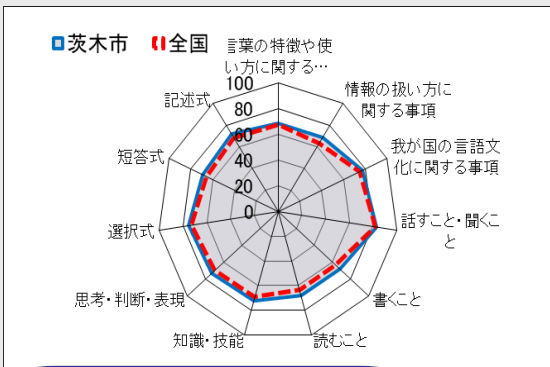


- ◆ 全国、茨木市とも、13問正解の児童の割合が最も多い。
- ◆ 正答率 40%以下(0~6問正解)の生徒の割合は 12.2%である。(内 20%以下(0~3問正解)の生徒の割合は 4.1%)
- ◆ 正答率 80%以上(12~15問正解)の生徒の割合は 53.2%である。

領域・観点・問題形式別

「情報の扱い方に関する事項」「書くこと」で良好である

令和5年度 中学校国語 レーダーチャート



良好な項目	より改善したい項目
情報の扱い方に関する事項	言葉の特徴や使い方に関する事項
書くこと	

- ◆ 「情報の扱い方に関する事項」、「書くこと」については、平均正答率が全国平均よりも5ポイント以上高く、良好な結果となった。「言葉の特徴や使い方に関する事項」については、全国平均より高いものの、誤答率が30%以上ある。

課題があった設問

○文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができるかどうかをみる(正答率 55.9%)

4 三 石井さんは、国語の時間に、「竹取物語」を読みました。そのあと、学校図書館で、現代語で書かれた「竹取物語」を見つけ、読み比べてみました。次は、【授業で読んだ「竹取物語」の一部】の(原文)とその(現代語訳)、【学校図書館で見付けた「竹取物語」の一部】です。【学校図書館で見付けた「竹取物語」の一部】は、古典の作品である「竹取物語」に、作家の星新一が工夫を加えて現代語で書いたものです。どこがどのように工夫されていると考えられますか。【授業で読んだ「竹取物語」の一部】や【学校図書館で見付けた「竹取物語」の一部】の表現を取り上げて、あなたの考えを書きなさい。

【授業で読んだ「竹取物語」の一部】

【原文】
今は昔、竹取の翁といふものありけり。野山にまじりて竹を取りつつ、よろづのことに使ひけり。名をば、さぬきの造となむいひける。その竹の中に、もと光る竹なむ一筋ありける。あやしがりて、寄りて見るに、筒の中光りたり。それを見れば、三寸ばかりなる人、いとうつくしうてあたり今は昔、竹取の翁といふものありけり。野山にまじりて竹を取りつつ、よろづのことに使ひけり。名をば、さぬきの造となむいひける。その竹の中に、もと光る竹なむ一筋ありける。あやしがりて、寄りて見るに、筒の中光りたり。それを見れば、三寸ばかりなる人、いとうつくしうてあたり

【現代語訳】

今ではもう昔のことだが、竹取の翁という者がいた。野や山に分け入って竹を取っては、いろいろなことに使っていた。名前を、さぬきのみやつこといった。その竹の中に、根もとの光る竹が一本あった。不思議に思って、近寄って見ると、筒の中が光っている。それを見ると、三寸ほどの人が、とてもかわいらしい様子で座っている。

【学校図書館で見付けた「竹取物語」の一部】

(星新一『竹取物語』による。)

※著作権の関係で記載できません。

回答例)「よろづのことに」を「笠、竿、策、籠、筆、箱、筒、箸。」というように具体的に書いて、翁が竹でどのようなものを作っていたのかが分かるようにしている